

桃咲く里

佐久市立平根小学校
学校だより4月号(2)
令和8年4月24日
文責：教頭 鶴田 孝一

命を守る学習が行われています

(交通安全教室・集団下校・避難訓練)

4月。年度当初にあたり、平根小学校では交通安全教室、集団下校、避難訓練が行われ、体験や実習を通して命を守る学習を行いました。交通安全教室の前日、あいにくの翌日の雨予報に体育館で開催することを決定しました。PTA役員様をはじめ、交通安全指導員の方など交通安全に携わる皆様にご協力いただくわけでしたが、予定していた公道での歩行練習(1・2年)や校庭模擬道路での自転車練習(3年)ができませんでした。しかし、当日は体育館にて交通安全支援センターの方に、歩くときは「とまる」「みる」「まつ」の3つを、自転車に乗るときには「体に合った自転車」「点検をする」「ヘルメットをかぶる」の3つを大切にしようと学びました。おかげさまで子どもたちの交通安全に対する意識を高めることができました。ご都合をつけていただいた役員の皆様、ありがとうございました。



集団下校では、地域にある「子どもを守る安心の家」を確認しながら登校班で下校しました。緊急時(荒天や不審者対応など)に備え、子ども達が安全かつ速やかに下校できるように実施した「集団下校」。子ども達の自律的な防犯意識を高めるため、ご家庭でも注意喚起をお願いします。



家庭科室からの出火を想定した避難訓練。4月のこの時期は、教室から校庭へ向かうとき、出火場所がどこで、どのルートを通して避難するのかを確認することが一番の目的です。大きなベルが鳴り響き、緊急放送が鳴り、びっくりした児童もいましたが、静かに、本番を想定して、真剣に避難訓練に臨むことができました。校長先生からは、「けむりがいちばんあぶない」「どこへ逃げたらいいか放送をしっかりと聞く」ことが大事であるとお話いただきました。



支部児童会も開催されました。PTAの支部長さんにも参加いただき、「支部でやりたい行事」「支部で気を付けること」「登校班の確認と約束」を考えていきました。やりたい行事の意見がたくさん出ましたが、すべてできるわけではありませんので、今後、支部の活動をおうちの方と一緒に考えていきます。また、平根地区は交通量が激しい道路がある地区です。登校班の約束をきちんと守り、安心・安全に登校できるといいなと思います。急いでいると周りへの注意力が散漫になり、飛び出しなどの事故につながりやすくなります。時間に余裕を持って家を出られるよう、前日の準備や早寝早起きの習慣を大切にしましょう。

参観日が行われました

4月17日。本年度1回目の参観日が行われました。保護者の皆様にはお忙しい中ご都合を付けてご来校いただき誠にありがとうございました。新しい学年、新しい教室で、少し緊張しながらもお家の方に良いところを見せようと、一生懸命に手を挙げたり、真剣に課題と向き合ったりする子ども達の姿に、進級した自覚と成長を感じることができました。



PTA総会前に学校長より、本年度の学校運営に関するお話をさせていただきました。その概要は以下の通りです。

本校では今年度「思考を深める 言葉をつなぐ 仲間の輪を広げる」を重点とし、表現力対話力の向上に力を入れていきます。児童も教職員も対話を通して高めあい学びの自走者となれるよう取り組んで参ります。取り組みについて4点説明をいたします。

① 校内の中での対話(聴く)

本校は各学年1クラスの単級校です。そのため、人間関係が固定化しやすいという課題もあります。そこで一つの学級に対し、複数の教職員が関わる体制をとります。学年によってちがいはありますが、専科や他学年の教員が授業を行います。職員間で情報共有することで、多角的な視点から子どもたちを見ることが出来ます。子どもたちも、様々な教員と関わることで、相談できる先生が広がると考えています。複数の教員が授業を行うので、教員同士も対話が必要です。週の授業の計画や子どもたちの様子を対話しながら共有し、授業の質を高めたいと思います。

② みんなでつくりあげる学校(たくましく)

まずは、運動会のスローガンを児童会で考えてもらいました。そのスローガンに向かって、児童が開閉会式の内容を考えたり、種目について検討したりすることを取り入れました。児童が行事等の立案に参加し、子どもたちの考えも教職員の考えももちろん保護者や地域の皆様のご意見もお聴きしながら、つくりあげる行事にしていきたいと思えます。子どもたちは、考えたことを自分たちで創り出す経験を通して自尊心や主体性が育まれると思えます。

③ 地域との連携・対話(明るく)

6年生を中心に「未来につながる桜プロジェクト」を行います。ソニー銀行と佐久市のご支援を受けクラウドファンディングを行います。そのお金で昨年倒れてしまった桜の木の利用について、区長さんやCSの方をはじめとする地域の方とも話し合いをしながら、学校と地域がつながって活動できるようにしたいと考えています。他にも、しめ縄作りや田んぼ、畑などの活動や、それぞれの学年でも御協力をお願いすることが多々あります。

④ 家庭での対話(授業時間の適正化)

今年度より、全学年で授業時間を週1時間減らしました。例えば1年生では昨年度100時間以上の予備の時間がありました。1時間減らしても、年間の授業時数は、十分確保されています。教職員も今まで以上に授業の質を高めるよう研修を重ねて参ります。子どもたちが学校に滞在しすぎるのではなく、放課後の時間を有効に使ったり、ご家庭での対話を大切にさせていただいたりするためです。1学期の始業式で、子どもたちに話をし、その1時間の使い方を考えました。子どもたちからは、「読書をする・ドリルをする・サッカーや野球をする・何をしようか考える」という意見が出てきました。お手伝いをしたり、友だちと思い切り遊んだりすることもできますね。お子さんと話題にさせていただき、有意義な時間を過ごしていただけたらと思います。



以上、今年度の教育活動についてご説明いたしました。

「対話」が今年度の合い言葉です。毎日の生活の中で、ご心配な点等ありましたら、学校の方へご連絡いただければありがたいです。お互いの想いを共有しながら、お子さんが聴く明るくたくましく成長していけるよう、よろしく願いいたします。

本年度は、平根小学校の職員や子ども達が保護者の皆様との対話によりつながりが更に深まればと考えています。今後、大きな行事等の感想や子ども達へのエールを募集します。その折はご協力よろしく願います。